

## 2025年度 森下記念病院における看護職員負担軽減計画

<p><b>2024年3月末現在の看護職員の勤務状況</b></p> <p>1 (正・准)看護師数 <b>58名</b> ・うち常勤 <b>42名</b> ・非常勤 <b>16名</b> (休職者含めず)</p> <p>2 月平均 <b>4.2回</b></p> <p>(月延夜勤時間数を職員数で除算し1人当たりの月平均夜勤時間数から回数を算出)</p>	<p><b>目標</b></p> <p>①月1残業内容の評価を行い、各部署の特徴把握継続実施。記録の簡素化継続。                  ②他職種、他部門からの積極的な協力による、看護師の業務整理続行により時間外労働の減少に努める。                  ③24時間院内保育所の活用と多様な勤務時間調整、状況に応じ配置換えを実施し、職員のライフプランに寄り添うことで、永続可能な職場作りに取り組む。</p>
---	--

様式13-3 取組項目	現状・問題点	具体的な取り組み内容	目標達成年次	主たる所管部署	達成項目のチェック 2026年3月	
イ	健診当日の問診に時間がかかっている。(新規)	「内視鏡検査 問診票」を作成し、事前書類と共に郵送し、事前に記入していただくことで問診時間の短縮につなげる。	2025年度内の実現を目指す	健診センター	□	%
イ	医学管理料に係る定例報告について看護師がデータ収集を行っている。(新規)	診療情報管理士による医学管理料算定患者の抽出ならびに必要な検査値などのデータ収集を行う。	2025年度内の実現を目指す	診療情報管理士	□	%
イ	NS処置室業務(採血など)の件数が多い日にVA診察介助にNSを配置している。(新規)	1.医師事務2名体制の日の介入は必要時とする。 2.承諾書説明、同意サイン介入。	2026年度内の実現を目指す	腎センター支援課	□	%
イ	臨床検査技師が、右記業務を担うことにより、看護職員の負担を軽減する。 (継続・一部追加)	1.フットケアチェック時に必要なABIデータの入力と更新。(新規) 2.発熱者の鼻咽頭ぬぐい検査協力。 3.可能な限りの患者移送業務協力。(継続)	2025年度内の実現を目指す。	生理検査課	□	%
イ	薬剤師が、右記業務を担うことにより、看護職員の負担を軽減する。 (継続・一部追加)	1.入院時における持参薬の確認・管理。 2.中止・休業の再調整。 3.残薬確認。 4.薬剤管理指導の強化。 5.病棟の内服ストック薬剤管理・注射薬剤在庫管理。(一部追加) 6.救急カートの薬品管理。 7.院内採用薬剤情報の適切な管理及び看護必要度A項目に関連した院内採用注射薬の情報管理。 8.両病棟の薬カートチェック。 9.特定抗菌薬使用用紙作成と管理。(新規)	2025年度内の実現を目指す。	薬剤課	□	%
イ	臨床検査技師が、右記業務を担うことにより、看護職員の負担を軽減する。 (継続・一部追加)	1.採血、心電図等可能な検査実施協力。 2.外来患者のグルテストセンサー精度管理。 3.未実施の検体確認と案内。 4.予約スピッツの準備。(透析フロア別に払い出し)(新規) 5.身長・体重・自動血圧計による計測と値の入力(新規) 6.CGM(リブレ)の装着・説明及び報告書準備(新規)	2025年度内の実現を目指す。	検体検査課	□	%
イ	看護部人員不足にて、臨床工学技士が、右記業務を担うことにより、看護職員の業務負担を軽減する。 (継続・一部新規)	1.透析中、創傷処置や薬剤関連以外のフロア一透析業務全般を協力体制で実施。 2.病棟における腹膜透析の支援、実施。(新規) 資材管理(継続) 3.手術室関連のME機器における保守点検などを含む管理業務。(新規) 4.採血実施入力協力。(新規) 5.日帰りPTAのヘルプ。(新規)	2025年度内の実現を目指す。	臨床工学課	□	%

様式13-3 取組項目	現状・問題点	具体的な取り組み内容	目標達成年次	主たる所管部署	達成項目のチェック	
					2026年3月	
イ	理学療法士が、右記業務を担うことにより、看護職員の負担を軽減する。 <b>(継続・一部新規)</b>	1.トランスファー指導、相談に応じ、看護補助者指導援助を実施。 2.HRS-R入力。 3.看護必要度の院内研修参加とB項目入力確認。 <b>(新規)</b>	2026年度内の実現を目指す。	リハビリ室	<input type="checkbox"/>	%
イ	資材管理事務員が、右記業務を担うことにより、看護職員の負担を軽減する。 <b>(継続・一部追加)</b>	1. 全部署棚卸し及び在庫管理表の随時変更更新。 2. 新規物品購入のスムーズな手続き。 3. 請求の負担軽減としてSPD化の促進。 <b>(新規)</b>	2025年度内の実現を目指す。	資材管理課	<input type="checkbox"/>	%
オ	一般病棟の超過勤務が多い。 <b>(継続・一部追加)</b>	1.多様な勤務形態の導入を図る。 2.業務量に合わせ、フリー業務看護師を短時間導入する。 3.看護部長室所属の看護師と看護補助者のヘルプ体制の強化。 <b>(新規)</b> 4.非常勤職員の勤務時間、勤務可能曜日の再確認と契約見直し。	2025年度内の実現を目指す。	看護部	<input type="checkbox"/>	%
エ・オ	看護職員が不足している。 <b>(継続・一部追加)</b>	1.個人のライフイベントに応じて働き方を選択できる「多様な勤務形態」の導入により、ライフワークバランスを維持し、働き続けられる職場を作る。 2.各部署、各職種の勤務表を融合して作成し、協力体制を強化。 <b>(新規)</b> 3.夜間事務当直院内職員増員により電話対応の円滑化促進。 <b>(新規)</b> 4.ポータブル実施可能な検査(シャントエコーなど)を病棟で実施。 <b>(新規)</b> 5.透析前体重測定方法の見直し。ADLに応じた、透析場所の再考。 <b>(新規)</b>	2025年度内の実現を目指す。	看護部 総務課	<input type="checkbox"/>	%
イ	看護師が受診・入院相談業務対応に追われ、外来処置室看護業務が滞っている	初期段階で、MSWが可能な限り情報収集し外来看護師へつなぐ。	2025年度内の実現を目指す	MSW		
イ	外来医事課が右記業務を担うことにより、看護師の業務負担を軽減できる。 <b>(継続)</b>	1.コスト各項目実施漏れの防止。 2.管理料の代行入力。 3.初診時の予診実施。(問診票の準備) 4.来院者詳細情報のコメント記載(電子カルテ備考欄) 5.PD管理料・処置等の電子カルテ入力 6.在宅自己注射血糖測定センサー・針のお渡し 7.的確な電話取次	2025年度内の実現を目指す	外来医事課	<input type="checkbox"/>	%
ア	長時間の時間外労働が発生しないよう、業務量の調整を行い、有給休暇取得率80%以上を目指す。 <b>(継続)</b>	1.病棟別に勤務時間、超過勤務時間とその内容、有給取得率を調査する。 2.有給休暇の取得が進んでいない部署の実情を調査し、具体策を見出す。 3.時間外勤務内容の調査、分析を毎月1回看護部会議にて実施。各課長と情報共有し具体的対策案を提言する。	2025年度内の実現を目指す。	看護部	<input type="checkbox"/>	%
イ	放射線技師が、右記業務を担うことにより、看護職員の業務負担を軽減する。 <b>(継続)</b>	1.CT造影時、医師または看護師が確保した静脈路に造影剤を接続すること及び造影剤自動注入器の操作実施。 2.造影剤投与終了後の静脈路の抜針及び止血実施。 3.CT造影直後自動血圧測定。	2025年度までに所定の研修修了し、実現を目指す。	放射線課	<input type="checkbox"/>	%

様式13-3 取組項目	現状・問題点	具体的な取り組み内容	目標達成年次	主たる所管部署	達成項目のチェック	
					2026年3月	
イ	管理栄養士が、右記業務を担うことにより、看護職員の負担を軽減する。 <b>(継続)</b>	1.食事形態、嗜好、付加食などの相談業務。 2.食事私事の入力・確認業務。 3.GLIM基準による低栄養判定。	2025年度内の実現を目指す。	栄養課		
ア・イ	クラークが、右記業務を担うことにより、記録業務負担を軽減し病棟看護師の残業時間を減らす。 <b>(継続)</b>	1.療養目的入院患者様の基本情報入力。 2.入院時オリエンテーション(非常口・トイレなどの説明) 3.透析患者様の各種ワクチン接種業務統括。 4.予定入院患者様の持参薬受け取り 5.透析患者様の各種同意書等の準備	2025年度内の実現を目指す。	クラーク	<input type="checkbox"/>	%
イ	SEが、右記業務を担うことにより、看護職員の負担を軽減する。 <b>(継続)</b>	1. 電子カルテオーダー変更及び新規オーダー作成。 2. テンプレート作成。 3. 新入職Drへの電カル操作オリエンテーション。	2025年度内の実現を目指す。	システム管理室	<input type="checkbox"/>	%
ウ	一般病棟と療養病棟の特徴に合わせ、看護補助者の適切な配置を図り、看護職員の負担を軽減する。 <b>(継続)</b>	1.療養病棟に介護福祉士を配置し、夜勤要員として活用する。 2.看護師の指示の下、看護補助者組織を結成。介護福祉士を中心とした研修を実施し、質向上を図る。 3.看護補助業務の標準化が不十分であるため院内外研修への参加促進やナースングスキルライトを活用し手順の可視化、標準化を図る。	2025年度内の実現を目指す。	看護部	<input type="checkbox"/>	%
カ・エ	ライフワークバランスを維持し、長く働くことができる職場を目指すため、妊娠、子育て、介護中の看護職員に対する配慮が必要である。 <b>(継続)</b>	1森下記念病院育児・介護休業などに関する就業規則に則り柔軟に対応する。 2.24時間院内保育所の活用。 3.夜勤減免、時短制度の積極的導入。 4.半日有給休暇。 5.他部署への配置転換。 6.保育士の採用枠増加。紹介会社からの登用も可能とし、多様な勤務時間に対応する。	2025年度内の実現を目指す。	保育課 総務課	<input type="checkbox"/>	%
キ	夜間ナースコールの80%は介護関連であり、看護補助者が対応できる。  夜間外来対応が療養病棟のみであるため、精神的負担がある。 <b>(継続)</b>	1.一般病棟夜勤は看護師3名に看護助手1名を加え4名体制とする。 2.療養病棟夜勤は看護師2名、介護福祉士1名または、看護師1名、介護福祉士2名の3名体制を維持する。 3.一般病棟入院患者20名以下の場合、夜間問い合わせ対応の協力体制実施。	2025年度内の実現を目指す。	看護部	<input type="checkbox"/>	%